

月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄証) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.3.19 No.3370

さあ本格スタート 三度 船橋市議会へ 中江必勝

前原東に開設された中江昌夫選対事務所は、連日、組合員の結集の中で熱気をおびている。

ダイ改闘争一波・二波ストライキをやりきってきた動労千葉の底力を、一点、中江選挙闘争に集中させる時を迎えている。

選挙闘争は、当選か落選かの最もシビアな闘いである。闘いも残すところあと一ヶ月。一分、一秒余裕のない土壇場の局面を迎えている。

厳しいのは、他候補陣営も同じである。推薦労組、多くの支持者の声に応えきろう。

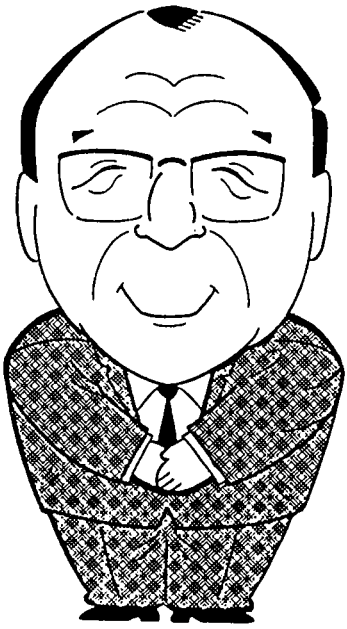
ここ一番、動労千葉の真価を問う中江闘争に全力投入されんことを心から訴えます。

信念と行動の人

中江氏は、八三年の統一地方選に初当選して以来、二期八年をもちまへの行動力で奮闘してきました。

初立候補の公約であった「船橋平和都市宣言」を八六年一月に実現するとともに、「船橋に文化を」と、「市民文学賞」の制定も実現してきました。

このように、正義感溢れる信念と行動の人、中江昌夫氏を三度市議会へ送り出そうではありませんか。



船橋駅頭で反戦・平和を訴える中江船橋市議

国鉄唯一の代表

同時に、中江氏は、国鉄労働者の唯一の代表です。

三月一二日の市議会本会議で中江氏は、成田エクスプレスの騒音公害問題を取り上げ、成田エクスプレスの減速を要求するとともに、船橋駅停車の要求を明らかにし、市民の生活を守るためにも、再三にわたり市の姿勢を追及してきました。船橋市はこれをうけて一五日に、JR千葉支社に対して要望書を提出しています。

第二次統一行動へ集まろう

中江事務所では、ひとりでも多くの組合員の結集を心から待っています。二日までの第二次統一行動へ組合員の決起を訴えます。



10倍20倍にして返す!! 強制配転へ反撃

前号でも報告のとおり、津田沼支部は、乗務員の34名中20名が強制配転されようとするその前日に支部の新執行体制を断固として築きあげた。

右の写真は、3・15集会で登壇した新執行部。円内は、決意をのべる菅谷副支部長。